




1歳児クラス 9月 第2回 「とってください」

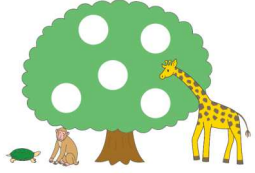
保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

読み方	<ul style="list-style-type: none"> 「〇〇さん△△をとってください」「ありがとう」繰り返される会話を楽しむ。 登場する動物それぞれの身体の特徴とそれに合わせたものの取り方、木や果物にも注目し、興味が持てるようにする。 相手にしてもらったことに対して「ありがとう」の表現ができることの素敵さを強調する。 	教材	
	<ul style="list-style-type: none"> ★絵本 ★iPad(シアターセット) ペーパーサート(かめ・さる) 	保育士の役割	
導入	<ul style="list-style-type: none"> 保:「こんにちはー」とかめとさるのハ°-フサト持って登場。 講:「仲良しかめさんとおさるさん。今日はどちらへ」と会話を広げ「行ってらっしゃい」と送り出しお話を始める。 	<ul style="list-style-type: none"> ハ°-フサトを持って登場、会話を広げる 	

がくしゅうタイム

活動①	生活	「とってください」と自分のして欲しいことを相手に伝えることができる。	
設問	<p>「とってください」「ありがとう」の言葉を言ってみましょう。 くまさんにはりんご、りすさんにはみかんを取ってもらってそれぞれの動物に貼ってあげましょう。</p>		
つな	<ul style="list-style-type: none"> 講:「かめさんお願いできて良かったね。ありがとうも言えて偉かったね」 保:「おなかすいたよー」とプリント持って登場。 		教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講:「りすさんくまさんどうしたの?」とプリントを受け取る。りす・くまそれぞれの名称を子どもたちと確認後おなかすいた2匹にどうしたら良いかを子どもたちと考える。 講:「何か美味しいものないかなー」 保:「美味しいものありますよ。」とくだもの木を提示。 講:「美味しそうなお菓子がたくさんってる」と受け、果物の名称確認。 保:「取って欲しい果物の名前言ってください。取りますよ」 講:それぞれの動物に何の果物が食べたいか聞く。「くまさんりんご食べたいって。みんなでお願いしてみようか」と誘い掛け子どもたちと一緒に「〇〇先生りんごとってください」と見本行動。 保:りんご一つ取って「どうぞ」と渡す。 講:受け取り「取ってもらったら何て言う?」と子どもたちに問いかけ、子どもたちと一緒に「ありがとう」のことばを言ってりんごカードのシールを取ってくまに「どうぞ」と貼る。「くまさんありがとうって言ってるよ」と会話。同様にりすにみかんカードを貼っていく。(テープのゴミは皿の中) 保:「ほくたちも欲しいよー。取ってください」と配布プリントを提示。 講:「こんなにたくさん…みんなも先生たちにお願ひして取ってあげてくれる?できるかな?」とプリント配布。 子:「〇〇とってください」「ありがとう」と会話。カード受け取り貼っていく。 講:「動物さんみんなありがとうって言ってるよ」と賞賛。「まだまだお腹空かせてる友達がいるからよろしくだって…」とプリント回収。次に進む。 		P1 P1用果物カード2種 両面テープ付一人各一枚 クリアケース用木3枚 ※りんご・みかんそれぞれを提示用の木に貼っておく ★クリアケース3枚 ★皿(シールゴミ用)
			保育士の役割
			<ul style="list-style-type: none"> プリント持って登場 果物の木提示 「取ってください」のことばを受けて果物カードを渡す 配布プリント提示 プリント配布 ゴミ用皿配備 賞賛 プリント回収

活動②		書く	「くるくる」をキーワードに〇を塗ることができる	
設問	木にくだものいっぱい実らせてどうぶつさんたちにとってあげましょう			教材
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 講：「お友だち誰が来るかな？」 保：「ぼくたちも美味しい果物ほしいな」とプリント提示。子どもたちにも配布する。 講：3匹の動物確認後「果物が無くなっちゃってるんだね」と木の白い部分に注目。「そうだ良いこと考えた」とクレヨン提示。「見ててね。(赤のクレヨンでくるくるくるくる…りんご)」と〇の中を塗る見本行動。同様に色を変えて何個か〇を塗る。子どもたちと一緒に「スタート」「ストップ！」の掛け声をかけても良い。 講：塗り終わったら「きりんさん何がいいですか？なにになりんごですか」と一人芝居(又は保育士「りんごとってください」と掛け合いでも良い)で「どうぞ」と動物にあげるまね。「みんなの動物さんも欲しいって言ってるよ」 保：子どもたちにクレヨンを配布。 子：講師同様に〇に色を塗り動物と会話をしてごっこ遊びの様に楽しむ。 状況を見てエレビの音に合わせて塗るのも良い。 講師、保育士は子どもたち一人ひとりに声をかけていく。 [例]「これは何の果物？」「〇〇さんがぶどうくださいって言ってるよ」「ありがとうっていつてる」「先生も〇〇ください」「〇〇ちゃんに先生が取ってあげる。何がいい？」など会話の相手となっごっこ遊び楽しく展開する。 〇の中を塗るときは個々に「何の果物」などインタビューし、意識がもてるようにする。またト書きにメモして書いてあげると良い。 ※部分塗りはまだ難しい子も多いので〇を意識するが、はみ出しても気にしない。一色で大きくなぐり書の状態の子のみ嫌がらなければ、手を添えて一緒に塗るのも良い。色は好きな色で良い。果物の色を意識して塗れる子にはいろいろな果物(色)を表現させて塗らせてみる。 「動物さんおなかいっぱいになったって、よかったね。おうちに帰るってまたねばいばい」と賞賛。プリント回収。 			P2 クレヨン
活動内容				保育士の役割
				<ul style="list-style-type: none"> プリント提示 プリント配布 クレヨン配布 エレビ演奏 「何の果物」などインタビュー、声掛け 塗り方指導、補助 プリント回収

数チャレ		数	たくさんのおはじきの中から「2こ」とることができ	教材
設問	おはじき「2こ」とってください			おはじき 皿 動物ポケット
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 保：「ぼくたちにも取ってください」と動物ポケット持って登場。 講：「何を取ってほしいの？」 保：「おはじき2こ取ってください(お口の中に入れる)」 講：「いち・に。全部で2こ。はいどうぞ」と口に入れる見本行動。 保：ポケットを持って子どもたち一人ずつに「2こ取ってください」「ありがとう」と会話をしていく。 子：動物の口ばを受けて「2こ」取り「どうぞ」と動物の口に入れていく。 			保育士の役割
				<ul style="list-style-type: none"> 動物ポケット提示 「おはじき2こください」と声をかけ口の中に入れてもらう。 ※「ありがとう」を忘れずに